

令和6年度第4回 釜石市子ども・子育て会議開催結果（概要）

1. 日 時 令和7年3月24日（月）10:00～10:55
2. 開催場所 釜石市中妻公民館
3. 出席者等 <出席委員 11人>
佐々木江利委員、平松寿偉委員、八幡英貴委員、木村仁寿委員、松岡公浩委員、
藤原けいと委員、赤崎成子委員、佐々木晴美委員、菊池利行委員、福成菜穂子委員
(高橋仁美委員は欠席だが、代理で神愛こども園 佐々木幸江副園長が出席)
<市側出席者>
釜石市保健福祉部長 鈴木 伸二
釜石市保健福祉部こども家庭課長 村山 明子
こども家庭センター長補佐 松下 智子
課長補佐兼子育て支援係長 菊池 喜子
子育て支援係 課付係長 芳賀 沙織
釜石市教育委員会事務局学校教育課 主任指導主事 石龜 雅也
4. 傍聴者 1名
5. 結果
- (1) 第3期釜石市子ども・子育て支援事業計画について（協議）
- 施策の事業として「男性の育児休暇の取得促進」について、計画に掲載していただいて良かった。
今、男性も女性も一緒に子育てをしようということなので、是非とも重点的に各職場において推進できるように情報共有してほしい。
- (2) その他
- 第3期釜石市子ども・子育て支援事業計画に係る意見募集結果を踏まえて、オンライン診療・オンライン相談について、一時預かり等の子育てDXの推進について、また、子どもの保護者の方々からアレルギーやアトピーについてご意見をいただいた。
- アレルギーやアトピーの子が非常に多くて、皆さん本当に苦労している。すぐ近くに皮膚科がある環境がなくて、盛岡に行ったり、花巻に行ったりしている。そうなったときに、移動を考えた場合に、医療DXというか、ぜひオンラインの診療を進めてほしい。また、今後オンライン診療の検討と書いてあるが、どのように進む方向で考えているのか、すぐに出来るものなのか、それとも時間のかかるものなのか教えてください。
- オンライン診療なんですが、大きい流れとすれば、県立釜石病院の建て替えに当たりまして、7年度にどういったスペックの診療所を持たすかというのが検討される。その計画の中で、全ての県立病院の中でオンライン診療を検討します」と言ってますので、ちょっと時間はかかるかもしれないですが、そういった皮膚科のニーズについてもお伝えしたいと思います。
- また、市独自に新年度早々、地区を限定して医療に関する調査を行う予定です。医師会の先生にも担当に入っていただきまして、今の状況の中で何ができるか検討させていただいてますので、この会議の中で、このような声が上がっているという情報は共有させていただきたい。
- 子どもを急に預けたいことがある。そのときに、今、若者の人達はアプリ等で全部見ることができ

るので、釜石のLINEでもいいが、そこで一時預かりの空き状況をリアルタイムで見れるようにしてほしいと思うが、これに対して、すぐに出来る出来ないことを含めて何かハードルでもあるのか教えてほしい。

○一時預かりのリアルタイムでの空き状況の確認ですが、一時預かりするためには、各園の職員体制が整ってないとできません。また、リアルタイムにするのであれば、園との連絡など連携の調整が必要になります。さらにホームページやアプリで掲載するには、システムも必要です。このことから、今すぐ出来るわけではないですが、園と市と保護者が連携できるシステム構築ができれば可能だと思いますので、時間がかかるとは思いますが、検討が必要だと思います。

●デジタル化というのは色々と予算がかかるところだとは思いますが、デジタル化を進めることによって、子育ての方のアドバンテージになると思うので早急に進めてほしいです。

併せて、アレルギー、アトピーの子がすごく多くて困っている人がいる。近くにそういう病院ないというのは非常に保護者等の負担が大きい。オンライン診療であれば、簡単に日常的にどういうふうなケアすればいいのかとか、病状が出た部分に対して関わるので、早急に進めて欲しいです。

●アレルギー、アトピーに関して、新生児を抱っこする前にアレルギーやアトピーの知識があれば3割減できたっていうことがいろいろ勉強するうちにわかり後悔している。また、アレルギーの子は、病院の予約や書類の提出など、なかなか大変なことが多い。

●母子手帳アプリ「ハグ♡ミー」に予防接種記録が記載されるようになってほしい。

●最近、予防接種の問診票に住所と名前が入ってくるようになって、それだけでもすごい助かると思ったんだけど、予防接種の接種歴が自動で印刷されてきた問診票があればすごい助かります。

●学童でも、アレルギーのお子さんが本当に増えてきており、職員の方もアレルギーに関する勉強が必要なので、職員も今以上に勉強をしていきたいと思います。

●こども園では、アレルギーの子に合わせて皆が同じ食材で、少しでも危険を省くような、給食を提供する方向にシフト転換して今進めています。

●食育とか食のアレルギー関係の情報など、もしあればお母さんたちもやっぱり聞きたい見たいというのあると思うので、アトピーとかアレルギーの子どもたちの勉強会や講演会などについて是非、市で取り組んでいただきたい。

●子どもがアトピーで、皮膚科は特に相談できるところがあればいいなと思う。また子どもに限らず、高齢者に関してはオンラインによる診療科があればいいなと思います。